



甲南大学 地域連携センター(KOREC)

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1 12号館1階

TEL : 078-435-2276 FAX : 078-435-2302

e-mail : korec@ml.konan-u.ac.jp

地域連携センターの詳細は下記よりご確認ください。

<http://www.konan-u.ac.jp/korec/>

学生プロジェクト・ボランティアの情報をGETしよう。

メーリングリストの登録はこちら!



甲南大学地域連携センター

KOREC

KONAN University Regional Liaison Center

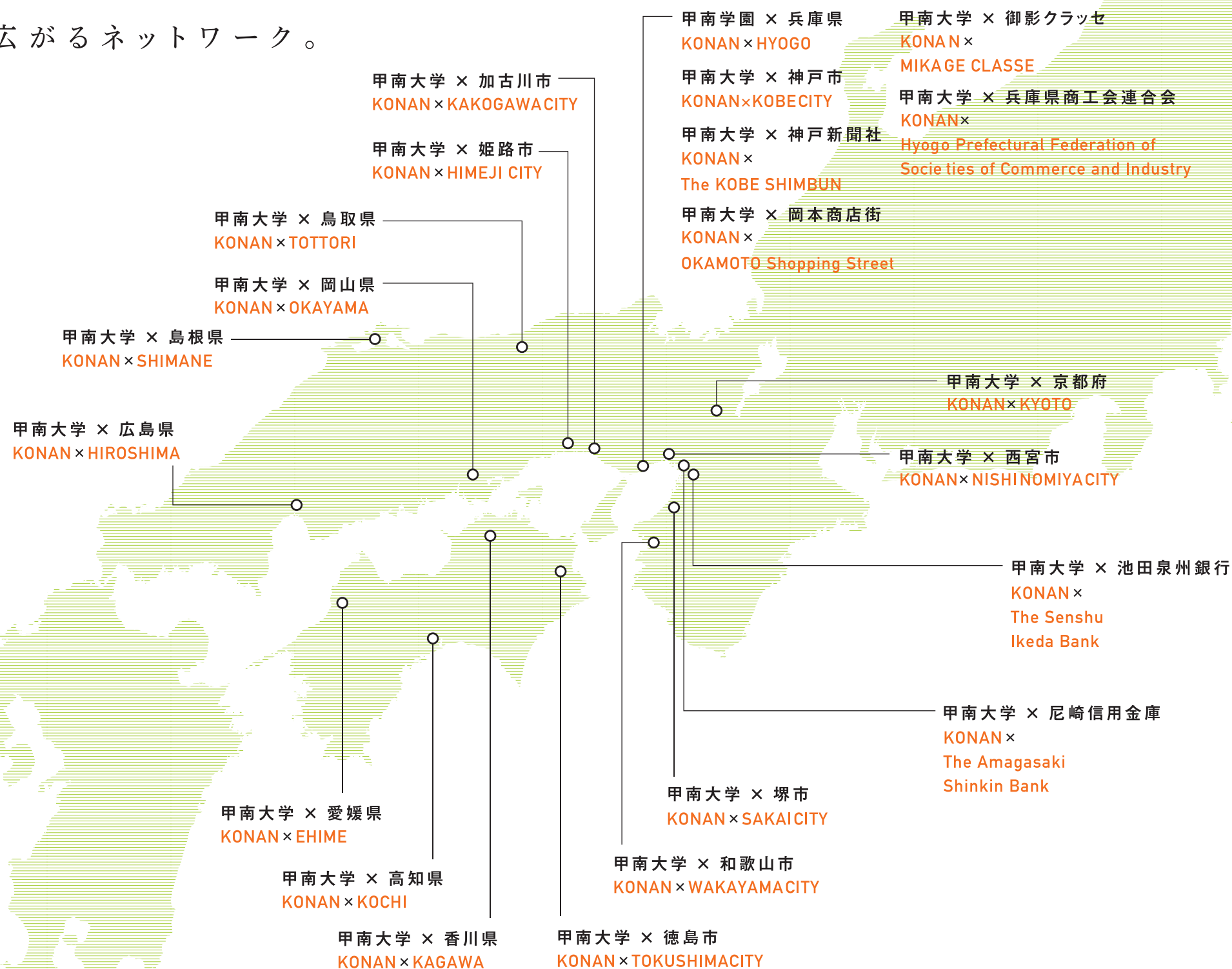
Link.

繋がることで、呼びおこす。

What is KOREC

KONAN University Regional Liaison Center

つながる絆、
広がるネットワーク。



包括連携・地域連携・就職支援協定等の締結先

人間的な成長を実現する、
そのチャンスとなる地域連携。

地域連携センター（KOREC）は、2011年の開設以来、おもにボランティア活動の推進や教育プログラムの開発に取り組んできました。

地域連携センターがこうした活動をおこなっている理由のひとつには、大学というものが知的プラットフォームとなることで地域の産業やコミュニティの発展を支援できるという狙いがあります。

さらにもうひとつの理由は、学生の学びとダイレクトに関係することですが、地域連携の現場が「人物教育のクオリティ・リーダーをめざす」という教育ビジョンを実現するための舞台になると考えていることです。

大学における学部学科での学びにより、専門的な知識や技能を身につけることができますが、より幅広い常識や素養を身につけてこそ社会人として認められるのです。

学生のみなさんには、地域連携センターを通じてボランティア活動や地方自治体・企業との連携プロジェクトに参加することで、ぜひともそうした社会人として必要な能力を身につけてほしいと思います。



地域連携センター所長
文学部歴史文化学科
佐藤泰弘教授



Volunteer Activities

【ピックアップ】

ボランティア活動について

きみの興味や関心にあわせて、
ボランティアにも多彩な舞台がある。

甲南大学と地域をむすぶ窓口でもある地域連携センターには、さまざまなボランティア情報が集まります。いままでにボランティア経験がある人もない人も、だれでも気軽に、一人ひとりの関心や興味にあわせたボランティア活動に参加できます。

Volunteer Activity

01

チャイルドフェスティバル

人の役に立ちたいという思いが、
子どもたちの笑顔となって実現。

岡本キャンパスで開催される「チャイルドフェスティバル」に、所属する児童福祉研究会のメンバーと参加しました。東灘区社会福祉協議会と東灘区役所が主催するイベントですが、ブース責任者として吸盤鉄砲を使ったゲームを企画。年齢にあわせて難易度を変え、多くの子どもたちが楽しめるよう工夫しました。「人の役に立ちたい」と思って入部した願いがかない、すごく充実感がありました。

文学部 社会学科 4年生 森朝隆裕さん



ブースで実施するイベント内容は、毎回自分たちで企画。

Volunteer Activity

02

117KOBEBょうさい委員会

大切な命を守るための知識を、
広めながら自分も成長できる。

阪神・淡路大震災で親戚をなくした経験があるので、防災関連のボランティアをしたいと思っていたところ、KORECでこの「117KOBEBょうさい委員会」を紹介してもらいました。小・中学校で「ぼうさい授業」を開いて、いっしょに防災知識を身につけたりしています。人に伝えることがいかに難しいか。そして目的を達成するにはメンバー同士の協力がいかに大切かを、この活動で実感しました。

経営学部 経営学科 2年生 廣友星菜さん



小学校で「ぼうさい出前授業」を教える廣友さん。

Volunteer Activity

03

なぎさ児童館JAZZ演奏会

JAZZを通じて、子どもたちとふれあう。

なぎさ児童館の夏休み中のイベントの1つとして、甲南大学JAZZ研究会が演奏を披露しました。子どもたちにとっておそらく初めて聞くJAZZの生演奏。とても興味津々で、演奏後に、学生たちが教えながら楽器に触れたり吹いたり、笑顔あふれる交流ができました。



Volunteer Activity

04

六甲シティマラソン大会

スポーツを愛する心の共感で、ボランティアの魅力を発見！

子どもからお年寄りまで、毎年さまざまなランナーが参加する「六甲シティマラソン大会」。六甲アイランドを舞台として開催されるこの大会には、甲南大学からも数多くの学生たちがボランティアとして参加。最長10kmのコースを懸命に走りながらも笑顔で接してくれるランナーたちの姿に感銘を受け、継続的にボランティア活動をはじめるきっかけとなった学生も多くいます。



Volunteer Activity

05

岡本一斉クリーン作戦

街の美観づくりを通じて、地域の人々とコミュニケーション。

甲南大学では学生自治会が中心となり、地域の方々と共に、岡本地域の清掃活動をおこなっています。地域の方々との世代を超えたコミュニケーションを通じて、人と人との信頼関係づくりの大切さ、日頃何気なく通っている街や通りにも暮らす人々の深い思いや愛着があることに気づかされ、地域とのつながりを再確認できます。



ボランティア活動実績(例)

主催団体等	イベント・プログラム名	分類
はぐねっと♡ひがしなだ	学習サポート	子ども・青少年
西宮市教育委員会	放課後活動サポート	子ども・青少年
兵庫県学生献血推進協議会	献血推進活動	福祉・医療
認定NPO法人 はんしん高齢者くらしの相談室	多世代交流・福祉	地域社会
みかげスイーツロードと公園のあかり	みかげスイーツロードと公園のあかり	地域社会
(一社)神戸青年会議所(みなとまつり特別委員会)	みなとまつり	地域社会
公益財団法人 神戸市スポーツ教育協会	六甲シティマラソン	教育・文化スポーツ
一般財団法人 神戸観光局	神戸ルミナリエ募金活動	教育・文化スポーツ
117KOBEBょうさい委員会	117KOBEBょうさい委員会メンバー	教育・文化スポーツ
岡本9丁目自治会	岡本9丁目自治会清掃活動	環境

※他にも年間を通して様々なボランティア情報を発信しています。



出前ぼうさい授業で教える「新聞スリッパ」は1分ほどで完成する優れた防災グッズ。



Cooperation with Partners

〔連携一例紹介〕

学・産・官 連携プロジェクト

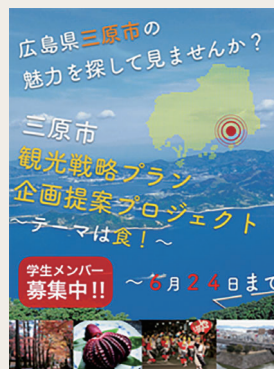
大学という枠を超えよう！ 甲南大学ならではの地域連携。

甲南大学は、さまざまな地方自治体、コミュニティ、企業などと連携協定を結び、学・産・官が協力しあいがながらの社会貢献活動を積極的に推進。
これにより、学生たちが参加できる地域連携活動の舞台がますます拡大しています。

甲南大学 × 広島県

広島県三原市の地域資源を調査・研究し、 成果を市長にプレゼンテーション。

2017年に甲南大学は広島県と就職支援協定を締結し、学生と広島県内企業のマッチング支援体制を構築しています。また、この協定を機に県内の自治体とも連携し、三原市の地域資源を利用した観光戦略プランを学生が提案するというプロジェクトもスタート。現地フィールドワークなどを通じた研究成果を三原市長に直接プレゼンテーションし、その様子は地元のテレビや新聞でも取り上げられました。



甲南大学×徳島市 / 甲南大学×姫路市

新たな包括連携協定の締結で、 海でつながる官学連携がますます深化。

地域と大学との連携を推進する甲南大学では、その輪をさらに拡大しています。2018年には、「関西湾岸SDGsチャレンジ」にも参加していただいた徳島市、そして現在600名を超える学生が本学に通う姫路市とも包括連携協定を締結しました。徳島市との調印式後には、これまでも連携してきた堺市および和歌山市を加えて「関西湾岸ネットワークシンポジウム」を開催。この新たな協定締結を機に、研究活動や学生プロジェクトを通じた官学連携をさらに深めています。



甲南大学 × 加古川市 × 神戸新聞社

自治体&メディアと連携しながら、 地域の課題解決策を公開プレゼン。

甲南大学は2016年に神戸新聞社と、2017年に加古川市とそれぞれ包括連携協定を締結しました。これにより、知の拠点としての本学と、地元メディアの神戸新聞社、地域活性化に取り組む加古川市が連携して、加古川「知」を結ぶプロジェクトを推進しています。加古川市内の企業や団体が抱えている課題や行政課題について、本学のゼミ生たちが調査・研究し、具体的な解決策を提案する公開プレゼンテーションを実施。学生目線による斬新なアイデアは、多くの企業・団体から注目を集めています。



甲南大学 × 神戸市 × 堺市 × 和歌山市 × 徳島市

「関西湾岸SDGsチャレンジ」始動！

持続可能社会をめざして、地域課題の解決に挑戦。

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年の国連サミットで採択された国際目標のことです。地球に暮らすすべての人が平和と豊かさを楽しむことができるよう、2030年までに達成すべき17の目標が掲げられました。甲南大学では、この趣旨に賛同し、「関西湾岸SDGsチャレンジ」という新たなプロジェクトをスタート。神戸市、堺市、和歌山市、徳島市という4市の自治体と連携して、甲南大学生たちが持続可能な社会を実現するための課題解決に挑戦しました。



各自治体からも評価される、 学生らしく柔軟で高度な発想。

このプロジェクトでは、甲南大学生が各地域の高校生とチームを組んで現地をフィールドワークして生まれた企画を、各自治体にプレゼンテーション。学部学科で学んだ専門知識を柔軟な発想で活かした提案は、その採用が真剣に検討されるほど高く評価されました。

甲南大学 × 神戸新聞社

専門力と発信力の連携で、 経済や文化をさらに活性化。

甲南大学では、地元メディアである神戸新聞社と連携して地域貢献のさまざまな取り組みをおこなっていますが、2016年の包括連携協定をきっかけにこの関係をさらに強化。神戸市内での取り組みだけでなく、2017年度からは神戸新聞社が手がける姫路市内の自治体における地域創生プロジェクトにも協力。広く兵庫県内を舞台とし、協働で地域貢献活動をおこなっています。



甲南大学 × 岡本商店街

地元商店街とともに、 由緒ある梅の街・岡本をPR。

甲南大学と岡本商店街振興組合は、人材の育成とまちづくりの推進などを目的として「地域連携協力に関する協定」を締結。古くから梅の名所として知られていた岡本の地域振興をめざし、「梅」をテーマとした活動を中心に展開しています。岡本梅アイスクリームや岡本梅紅茶を協力して開発するなど、街の活性化と人材育成を実現するための活動をともにおこなっています。



甲南大学 × 御影クラッセ

イベントや広報誌の企画で、 地域貢献に新たなカタチを。

阪神御影駅前にある商業施設「御影クラッセ」と連携し、甲南大生が主体となった活動<ACT>を展開。施設内でJAZZ研や軽音楽部のライブステージや、留学生によるハロウィンイベントなどを開催し、その活動を地域に発信するための広報誌「みかげの輪」も発行しています。学生たちの柔軟な視点や発想を生かした活動は2017年12月に100回目の記念回を迎え、今後も地域に新たな活気をもたらしていきます。



甲南大学 × 愛媛県 / 京都府 / 高知県 / 香川県 / 鳥取県 / 島根県

2018年4月～2019年3月には上記の各県と就職支援協定を締結。
甲南大学と地域との連携ネットワークは、ますます広がりをを見せています。

KONAN Premiere Project

地域連携支援プロジェクト

学生たちのアイデア、やる気を活かした 地域貢献を推進。

地域連携センターは、学生たちの自発的な活動も積極的にサポート。
KONANプレミアプロジェクトに「地域連携支援プロジェクト」があり、
助成金などのサポートを通じて活動を支援しています。



文学部日本語日本文学科 4年生
谷水 冴綺さん

花でつながる フラワーカーペット

〔 2017年度採択 〕

企画書作成などで苦労した分、 成功したときはすごい達成感。

甲南大学は、東灘区御影にある商業施設・御影
クラッセとコラボレーションして地域活性化のため
の「ACT」という活動をおこなっています。私は教
員をめざしていて、地域や子どもたちとの関わりに
興味があり、たまたま掲示板で見かけた、ACTの
活動を広報するグループ「ACT広報部」に参加
しました。

ACTが2017年12月に記念すべき100回目を
迎えることとなり、ACT広報部でも、御影地域の
幼稚園・保育園の子どもたちが育てた花で「フラ
ワーカーペット」を作ろうという企画アイデアが
持ち上がりました。しかし、実現するためには花の
購入代などにあてる予算が必要で、地域連携セ
ンターからの助成金が不可欠でした。私は申請に
必要な企画書の作成を担当したのですが、本当
に苦労しました。どうすれば企画内容を認めても
らえるかメンバーとも相談しながら、何度も何
度も書き直しました。その結果、無事にプロジェクトに採

択されましたが、イベント開催までは、いろい
ろな人に協力をお願いしたり、まだまだ多くの工
程が必要でした。しかし、企画が進行するうちに
メンバーのチームワークがどんどん深まるのを実
感できて嬉しかったです。なによりイベント当日の
子どもたちの笑顔や、地域の方々からの「良いイ
ベントですね」というあたたかい言葉のおかげで最
高の達成感を味わうことができました。

イベントが終わってからも、 励みになる言葉をもらえました。

普段はACTの広報誌「みかげの輪」の編集が主
な活動です。「フラワーカーペット」のイベント終
了後、手伝ってくれた保育園の方々に取材したと
ころ、「地域とつながる良いきっかけになりました」「ま
たぜひ協力したい」と言っていたので、これからの活
動の大きな励みとなりました。



Premiere Project

つながりの輪

〔 2018年度採択 〕



法学部法学科 3年生
松村 宗祐さん

ほんものの和太鼓の音色を、 助成金のおかげで知ってもらえました。

わたしは和太鼓サークル「甲(きのえ)」に所
属しているのですが、以前から東灘区の障が
い者支援施設で、50人ぐらいの子どもたちを
相手に和太鼓教室を実施してきました。叩け
ば音が鳴るというかんたんな太鼓で、まず楽器
の楽しさを知ってもらい、がんばって演奏する
ことで拍手をもらい自信をつけてもらう。そうし
た活動で「つながりの輪」を広げてきました。
けれど和太鼓の道具を新調したり、修理をする
には費用がかかります。すこしでも安全に、
本物の音色を知ってもらうにはどうすれば良

いか。そう悩んでいたとき、先輩から地域
連携支援プロジェクトの助成金のことを聞
いたんです。
プレゼンには慣れていなかったのですが、伝統芸
能である和太鼓の魅力や、子どもたちが協調
性を養う上でいかに役立つかを一所懸命にア
ピールしました。おかげで助成金をもらえるこ
になり、和太鼓教室での活動を、いままで以上
に充実させることができました。



Premiere Project

ふれあいまつり 2016

〔 2016年度採択 〕

心のこもった手づくりイベントで、 地域の子育てをサポート。

「ふれあいまつり2016 in 甲南大学」は、ダウン症
の子どもたちとその保護者の方々を岡本キャンパスに
招待して開催されたイベント。遊具からお菓子まで、
すべてが学生の手づくりで、子どもたちに外で遊ぶ
機会を提供し、おなじ境遇の保護者同士のコミュニ
ケーションをサポートしました。



Premiere Project

歴らば 地図班 篠山プロジェクト

〔 2015年度採択 〕

篠山藩青山家に伝わった、 貴重な古文書を解明。

文学部歴史文化学科の学生と教員による「歴らば
(歴史文化らば)」。



Public Lectures

公開講座

知の最先端プラットフォームとして、 研究の成果を地域に還元。

さまざまな分野から最先端の知が集まる総合大学として、甲南大学は地域における知的プラットフォームをめざしています。講演会や公開講座を通じて最新の研究成果を共有することで、地域コミュニティを活性化していきます。

生涯学習

さまざまな講座を通じて、幅広い研究成果を公開

地域連携センターでは春・夏・秋・冬の年に4回、地域の方々を対象とした公開講座を開講。毎年さまざまなテーマで、本学の多種多様な研究の一端に触れていただくことができます。甲南大学全体としても、国際言語文化センター主催の語学講座や、スポーツ・健康科学教育研究センター主催のKONANスポーツクラブなどを実施。参加者のニーズに応える幅広い生涯学習の場を提供しています。

先進的な知を発信する公開講座を グランフロント大阪で開催。

神戸市と大学がタッグを組んだ「大学都市KOBE!発信プロジェクト」に甲南大学も参加。グランフロント大阪の中核施設であるナレッジキャピタルにおいて、本学の教員を中心に歴史、経済、ビジネスなど多彩な内容の公開講座を開催しています。また2017年度は東京海上日動火災保険(株)とコラボレートした講座を開催するなど新たな企画にも取り組んでいます。



Public Lecture 1

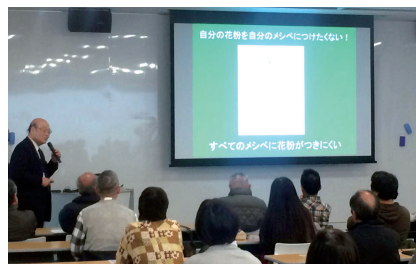
大学都市KOBE! 発信プロジェクト

Public Lecture 2

白川台キャンパス 公開講演会

新設された白川台キャンパスで、 講演会や公開講座を開催。

神戸市須磨区に新しく開設された白川台キャンパス。そのセミナーハウスにおいて本学教員によるオープンな講演会や公開講座を開催しています。講義室やセミナー室、食堂、さらに宿泊施設まで備えたこの白川台キャンパスは、ゼミ合宿や学修活動の舞台としてだけでなく、地域貢献・地域連携の拠点としても活用されています。



2018年度の公開講座一例

タイトル	各回タイトル
身近にあって知らない科学 〔春期公開講座〕	太陽エネルギーを有効に使うための化学技術
	身近になってきた人工知能
	私たちの住む宇宙
	環境刺激を感じながらしなやかに生きる植物から学ぶ
クラウドで機械学習に挑戦! Tensorflow Playgroundで遊ぼう 〔夏期公開講座〕	臓器をつくる幹細胞の不思議
	身近になった人工知能
	クラウド上のAIに触ってみよう
	クラウドAIコンピューティングに挑戦!
	AIに新しい何かを学習させてみよう
	学習成果を発表しよう

タイトル	各回タイトル
「いざ」という時の トラウマ&ストレス対策塾 〔秋期公開講座〕	まずは敵(トラウマによるストレス)を知る ～記憶がもたらすストレスの正体
	トラウマからくるストレス対処法を学ぶ(1) ～健康と生活を守る予防策
	トラウマからくるストレス対処法を学ぶ(2) ～人とのつながりを守る予防策
バドミントン教室 〔冬期公開講座〕	試合に役立つショートリターン!

KONAN Certificate

KONANサーティフィケート

授与される認定記念バッジは、3種類



学内外でボランティア活動に励む、 学生たちの努力を大学がしっかりと評価。

学生たちの自主的な努力や挑戦を評価するKONANサーティフィケート。そのなかには、ボランティアサーティフィケートという部門があります。ボランティアや地域活動を通じて社会で必要とされる知識・能力を身につけたことを認定し、1級から3級までのサーティフィケートが授与されます。



献血 in sannomiya

Let's
Challenge!



街頭での献血呼びかけだけでなく、 広報や企画など多彩な活動で日々が充実。

小学校から高校までずっと陸上競技に励んでいたのですが、そのときにお世話になったコーチに「恩返しをしたい」と、マラソン補助員に参加したのが最初のボランティアでした。大学でもボランティアを続けたいと思っていたときに地域連携センターから紹介されたのが兵庫県学生献血推進協議会の献血呼びかけ活動だったんです。三宮や西宮北口など各地の街頭で呼びかけるほか、イベントの企画や広報活動などもおこなっています。現在は協議会の役員も務めていて、もっと若者を取り込めるようなグッズ企画を考えるなど、このボランティア活動のおかげですごく充実した大学生活を送れています。



経済学部経済学科 3年生
釜江智佳さん



他大学の学生からもうらやましがられる、甲南大学ならではの制度が励みに。

ボランティア活動をしていて、いちばん幸福なのは「ありがとう」という言葉をもらえたときですね。自分のがんばりが、きちんと評価されることの喜び。そういう意味ではKONANサーティフィケートって、学業とは関係のない個人の努力でも、大学が正式に評価してくれるわけですから励みになります。他大学の友人からも、こうした制度があることに驚かれると同時にうらやまがられますね。もちろん、KONANサーティフィケートの認定には、ただ参加しているだけではなく、そこでの人間的な成長も必要になります。いまめざしている1級認定でも、評価基準として課題解決力という項目があるんです。兵庫県学生献血推進協議会の活動では、献血者を増やすための企画力や創造力を日々養っているところですから、この経験を活かし、ぜひとも1級を取得したいと思っています。

サーティフィケート取得者数



1級〔3名〕
(16年1名、17年2名)



2級〔6名〕
(17年1名、18年5名)



3級〔13名〕
(16年2名、17年2名、18年9名)

エントリー数(2018年2月時点): 302名